

2008 年度

科目名 倫理学概論 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 林 進
授業テーマ ヨーロッパ倫理思想概観		
授業の概要と目標 ヨーロッパ近代を中心に倫理思想を概観する。とくにカントに代表される近代の道德論と、その近代の道德価値に対して批判の刃を向けたニーチェの反道德論を両輪にして、デカルトの心身二元論やヘーゲルの人倫思想を説明し、国家と個人、自由と必然、の問題を考察する。		
評価方法 レポート提出。出席重視		
テキスト プリント配布	著者	出版社
参考書 授業の中で指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 倫理学とは何か 2. 古代ギリシアの倫理学（1）ソクラテス以前とソクラテス 3. 古代ギリシアの倫理学（2）プラトンとアリストテレス 4. 古代ギリシアの倫理学（3）プラトンとアリストテレス 5. ヘレニズムと帝政ローマの倫理 6. 中世キリスト教倫理——教父哲学とスコラ哲学 7. 近代科学の成立（1）——ベーコンとロック 8. 近代科学の成立（2）——デカルトとパスカル 9. 自由と必然——スピノザとカントとニーチェの説とバーリンの自由論 10. カントの道德論（1）——認識論 11. カントの道德論（2）——善意志 12. カントの道德論（3）——定言命法 13. ヘーゲルの人倫（1）——弁証法 14. ヘーゲルの人倫（2）——国家と自由の実現 15. レポート提出		